

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

住民集い “屋上農業”

東京・麻布で
デザイン会社

東京・麻布のビルに、
屋上農園が誕生した。一
年を通じ、季節の野菜や
ハーブを植える。収穫後
はハーブを使った料理教
室などのイベントも開

く。地域住民が一緒に植
物を植える作業を通じ、
六本木・麻布を中心とし
た地域コミュニティづ
くりを目指す。
企業広告やパッケージ

デザインを手掛ける六本
木の水谷事務所が計画し
た。第1弾の参加者は主
婦ら約15人。麻布にある
ハーブティ専門店「ハ
ーブマイスターセンタ

ー」の客らがロコミで集
まった。
開園当日の20日はイチ
ゴの苗30株をプランター
に植えた。指導した緑
化・菜園アドバイザーの
西城明男さん(50)は「都
会の真ん中でも野菜を作
ろうと思うきっかけにな



屋上でイチゴの苗を植える参加者 (20日、東京都港区麻布で)

ってほしい」と期待す
る。参加者の中野百合さ
ん(27)は「土の配合や
水のやり方を学び、イチ
ゴを作るまでの大変さを
知った」と話した。

作業後は、ハーブマイ
スターセンターの大島永
子代表が、ハーブの活用
法を説明。参加者にカモ
ミールティやハーブを
使ったクッキーを振る舞
った。デザイナーの水谷
孝次さん(59)は「農作
業と一緒にやることで、
都会での地域の輪をどん
どん広げたい」と意気込
む。

今後、夏はバジルとト
マト、秋はローズマリ
ー、タイム、トウガラシ、
冬はヨモギを植える予定
だ。